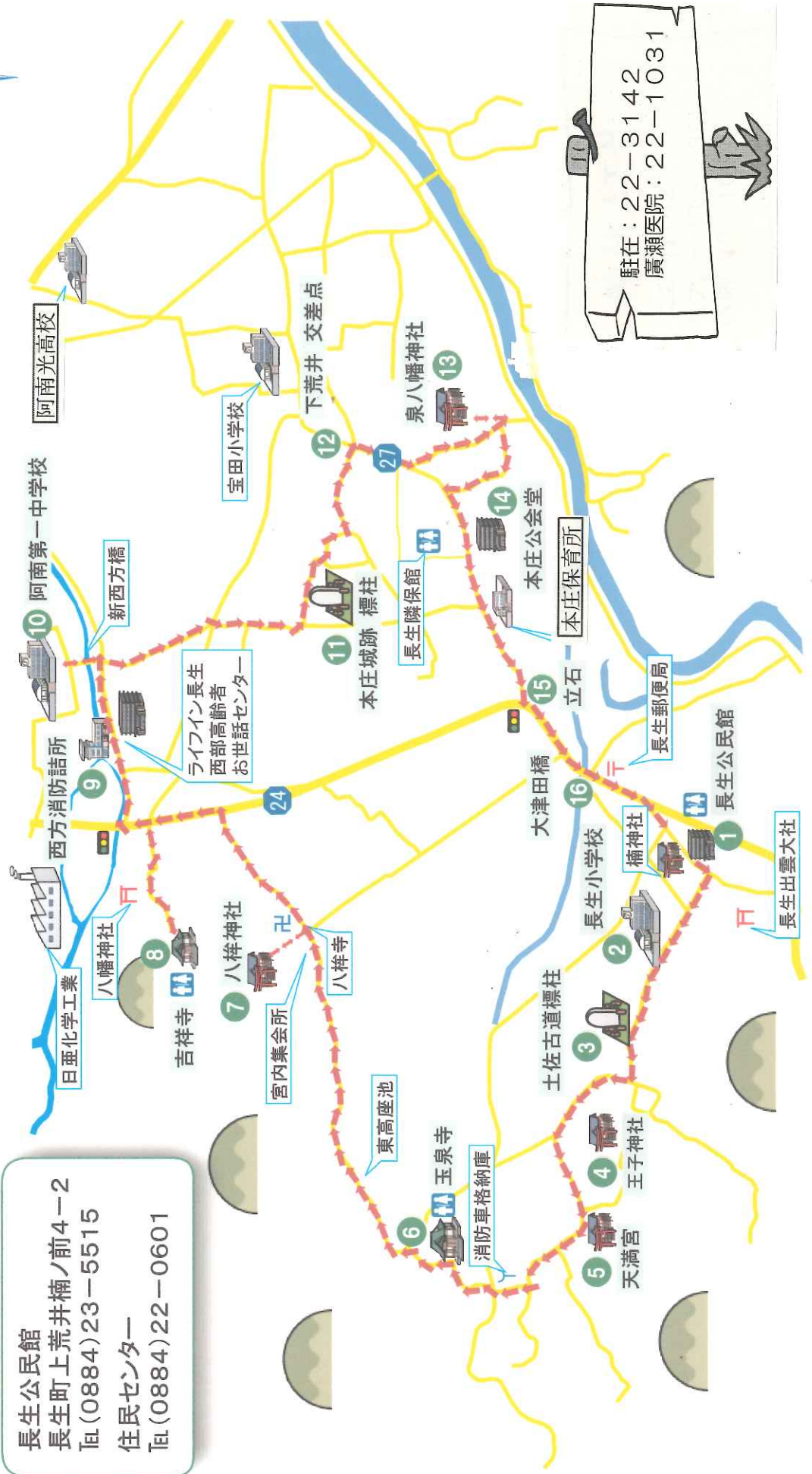


故郷の道を巡る長生コース

阿南健康第4番完歩 長生公民館の道

長生公民館
 長生町上荒井楠ノ前4-2
 TEL(0884)23-5515
 住民センター
 TEL(0884)22-0601



駐在：22-3142
 廣瀬医院：22-1031

故郷の道を巡る長生コース

阿南健康第4番完歩 長生公民館の道

- ①長生公民館 300m
WC 200m
- ②長生小学校 300m
- ③土佐古道標柱 200m
- ④王子神社 600m
- ⑤天満宮 800m
- ⑥玉泉寺 700m
WC
- ⑦八桵神社 1.1km
- ⑧西方吉祥寺 700m
WC
- ⑨西方消防詰所 800m
- ⑩阿南第一中学校 400m
- ⑪本庄城跡 標柱 800m
- ⑫下荒井交差点 500m
- ⑬泉八幡神社 400m
- ⑭本庄公会堂 700m
- ⑮立石 300m
- ⑯大津田橋 900m
- 長生公民館 WC

●土佐古道 かつて阿南には土佐街道と富岡道の2つの幹線があった。土佐街道は、徳島御城前(鷲ノ門前)から勝浦一那賀一海部郡の宍喰浦と土佐境までの道であり、藩政初期と工期には軍事的に重要な拠点となった。

●長生亜熱帯性樹林 阿南市長生町北内にある皇子神社の社叢(しゃそう)には、亜熱帯性樹林が繁茂している。自然の姿がよく保存せられ、県の天然記念物に指定されている。境内にはホルトノキをはじめ、ヤマモガシ・ナギ・イヌマキ・クスノキ・タブノキ・カゴノキ・イヌノキ・ヒメユズリハ・カクレミノなど十数種の暖地を代表する樹木が群生している。

●八桵(やほこ)神社 「也保古神社」とも呼ばれ、那賀の式内社七社のうち、最も由緒ある神社である。『阿波誌』に「延喜式亦小社と為す宮内村に在、八桵寺之を管す」と記述がある。祭神は大己貴命(おおなむちのみこと)で、御神体および所蔵の経巻は国の重要文化財に指定されている。また、重要文化財の2躯の男神立像の他に、県指定文化財となる3躯の男神立像がある。毎年10月27日には有名な神子市がある。

●八桵山古墳群 八桵山の裏山には、古墳群がある。1号墳は「姫の岩屋」と呼ばれたが、明治初年壊された。2号墳は「銀環塚」と呼ばれたが、大正初年、開墾の際に壊された。3号墳は玄室部と天井石の一部が残っているが、出土品はない。

●吉祥寺山門 西方の吉祥寺は、歴代公方の位牌が祭られ、公方家の信仰を得ていた。山門は平島公方館のお花畑の門を移築したため、「花垣門」とも呼ばれる。屋根は切妻、本瓦葺、虹梁の上にはめ込まれた欄間および棟の両端の獅子口には、平島公方の紋章が刻まれている。

●本庄城跡 『阿波誌』には「永禄中、清原高國 此に拠る、土城猶存す」と記載されている。主将 清原高國は備中足守から、1506(永正3)年、本庄に来て竹原庄を領したといわれる。しかし、実際は竹原庄の地頭職と思われる。本庄城跡は、本庄の北方、清屋敷で清崎両家の辺に土城の痕跡や堀が残っていたと伝えられる。周囲には北門、清屋敷の地名が残っている。

●泉八幡神社 この神社の歴史は古く、『阿波誌』に「八幡祠本庄村泉里に在り、文和三(1354)年の文書を蔵す」と記載されている。清原氏一族の氏神であるとともに、村人の鎮守の神、産土(うぶすな)の神であった。長生町本庄の八幡神社で、旧字名をとって、泉八幡神社と呼ばれるようになった。